

電子カルテでは難しい機能面の補完が可能  
STELLAR による様々な情報の一元管理、静止画のみならず動画の閲覧まで可能



2階 女性医療センター

### 導入経緯

#### システム更新に伴い導入を決定

2019年に心臓血管造影用の動画サーバの更新の時期を迎え、当時使用していたシステムで更新するより他に安価で優れたシステムを探していた時にアストロステージ社を紹介して頂きました。

当初は動画サーバだけ導入するつもりでしたが、同年に電子カルテの更新時期とも重なり STELLAR の紹介もして頂きました。電子カルテとしては不満は無かったのですが、医療文書作成は電子カルテの機能は不便で、前回更新の時は文書管理は別のシステムを導入していましたが、そのシステムも当初見込んでいた導入効果も出ず電子カルテ更新時には検討せざるを得ない状況でした。

### 全身管理の見える化

電子カルテのカスタマイズには限界があり予算を投入して手を加えても操作が複雑になるだけで思った通りに納品されなかったり、システムのバージョンアップでも対応できず費用ばかりかかる事は経験していました。STELLAR を初めて見た時に、それまで電子カルテの不満な点であった、医療文書作成・管理、慢性疾患管理が一気に解決出来ると思いました。見た目が似たような統合システムもありますが操作性、費用面で優位性がありました。

**導入システム**

- DICOM 画像管理システム Nazca
- RIS システム NazcaRIS
- 診療情報統合システム STELLAR
- ドキュメント作成&管理システム SophiaReport
- タブレット画像撮影ソフト AcePhoto

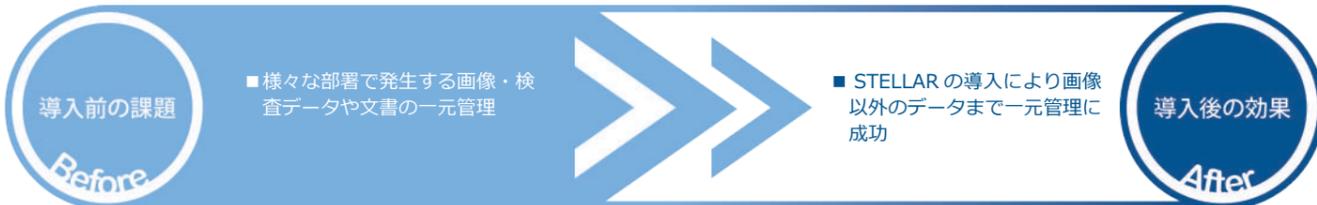
### 導入効果

#### 見える化が実現

STELLAR は直感で操作出来るため利用者からの問い合わせもなく、以前の文書管理システムより操作性も向上し医師の負担軽減に役立っています。電子カルテの情報に他の情報がプラスされた状態で一覧できる事が可能になり慢性疾患管理が容易になりました。STELLARNET も導入している為、病院内の会議の議事録、マニュアルなどの一元管理も容易に出来るようになりました。医療機能評価受審にも有効です。患者統計を出す機能もあり、患者管理、学会発表のデータ作成にも有効利用できます。



2階 血管造影室 (カテ室)



### くわみず病院：システム導入時期 / Feb 2020



くわみず病院は、1981年の開設以来「誰でも、いつでも、安心して」かかれる病院を目指してきました。1999年からCAG,2002年から睡眠呼吸障害診療を開始し熊本県唯一の日本睡眠学会専門医療機関(A型)となっています。2017年からはくわみず病院総合診療専門研修プログラムにも力をいれ特色のある医療を提供しています。

所在地：〒862-0954 熊本市中央区神水 1-14-41  
病床数：100床  
診療科：内科・消化器内科・外科・循環器内科・呼吸器内科・婦人科・小児科・外科・心療内科・リハビリテーション科・放射線科・アレルギー科・漢方内科・人工透析内科・歯科・皮膚科・リウマチ科



エントランス通り夜景

### 今後の方針

現在タブレット (iPad) は限定的な使用ですが、アプリの開発が進めばもっと便利なツールになるのではないかと期待しています。STELLARNET を病院ポータルサイトとして職員のコミュニケーションツールとしてもっと利用する様を着させたい。

### 今後の期待・要望

電子カルテは更新の際にバージョンアップをする必要があり費用も新規導入と変わらないので、更新のたびに他社の電子カルテも検討しますが、ステラは電子カルテに左右されないで病院情報システムの軸となるように長く安心して使えるシステムとして今後もより使いやすいシステムを開発し続けて欲しいです。

### システム構成図

